

資料5

参考資料

【平成27年6月26日現在案】

豊川市人口動向報告（案）



平成27年〇月

豊川市

～ 目 次 ～

I	人口動向全般について.....	1
	(1) 国全体での人口減少.....	1
	(2) 愛知県内の人口推移予測.....	1
	(3) 豊川市の人口推移について.....	2
	(4) 出生・死亡（自然動態）と転出・転入（社会動態）の動向.....	6
II	豊川市における転出・転入の人口動向.....	9
	(1) 県内の傾向.....	9
	(2) 県外の傾向.....	13

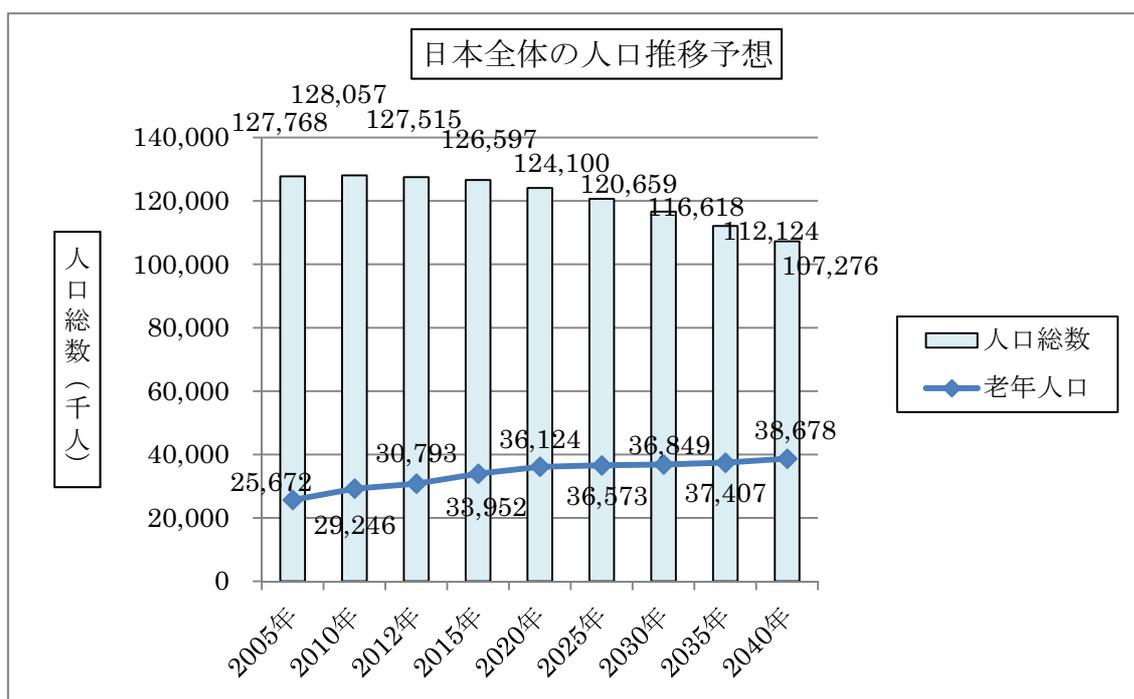
I. 人口動向全般について

(1) 国全体での人口減少

総務省が2013(平成25)年4月16日に発表した2012(平成24)年10月1日現在の人口推計によると、外国人を含む総人口は前年に比べ28万4千人減少し、1億2751万5千人となりました。マイナスは2年連続で、65歳以上の人口は初めて3千万人を突破し、人口減少と高齢化の進行が鮮明になっています。

都道府県別では、人口増加は埼玉、東京、神奈川、愛知、滋賀、福岡、沖縄の7都県で、それ以外では全て減少となっています。

図表1



※2005(平成17)、2010(平成22)年：国勢調査による人口

2012(平成24)年：総務省の発表

2015(平成27)年以降：国立社会保障・人口問題研究所による各年10月1日の中位推計値。

(2) 愛知県内の人口推移予測

国立社会保障・人口問題研究所が2013(平成25)年3月27日に発表した推計(以下、社人研推計という)によると、愛知県内の人口10万人以上の都市で2010(平成22)年と2020(平成32)年を比較して人口が増加するのは、名古屋、岡崎、半田、春日井、刈谷、豊田、安城、東海市の8市となっており、減少するのは豊橋、一宮、瀬戸、豊川、西尾、小牧、稲沢市の7市となっています。

また、この推計によると、2010(平成22)年と2040(平成52)年の比較では安城市以外の14市全てで人口減少する予想となっています。

図表 2

愛知県内自治体（人口 10 万人以上）の人口推移予想

自治体	総人口(人)						
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
愛知県	7,410,719	7,470,407	7,440,404	7,348,135	7,213,147	7,046,425	6,855,632
名古屋市	2,263,894	2,288,845	2,278,104	2,247,647	2,204,182	2,150,631	2,088,107
豊橋市	376,665	376,716	373,406	367,199	358,949	349,020	337,646
岡崎市	372,357	376,079	376,106	373,276	368,315	361,310	352,471
一宮市	378,566	378,879	374,771	367,247	357,545	346,771	335,536
瀬戸市	132,224	130,885	128,223	124,326	119,601	114,394	109,092
半田市	118,828	119,858	119,579	118,373	116,530	114,187	111,405
春日井市	305,569	310,243	310,923	308,478	303,721	297,464	290,647
豊川市	181,928	180,741	178,343	174,615	169,936	164,586	158,772
刈谷市	145,781	148,083	149,067	148,917	147,939	146,136	143,600
豊田市	421,487	426,787	428,385	426,697	422,338	415,420	406,258
安城市	178,691	183,924	186,697	187,939	188,074	187,289	185,653
西尾市	165,298	165,128	163,491	160,776	157,376	153,424	148,846
小牧市	147,132	146,107	144,254	141,016	136,725	131,769	126,477
稲沢市	136,442	134,433	131,500	127,463	122,679	117,388	111,867

※国立社会保障・人口問題研究所の2013(平成25)年3月27日発表資料による

(3) 豊川市の人口推移について

本市の人口は愛知県の人口動向調査によると、2008(平成20)年12月の183,259人をピークに、2013(平成25)年には181,329人へと減少傾向にあります。今後も減少は続くと予想され、社人研推計によると2040(平成52)年には158,772人となる予想です。

2010(平成22)年から2040(平成52)年の人口割合は、14歳以下の年少人口が15.0%から11.9%へ減少、15から64歳の生産年齢人口が63.5%から54.9%へ減少、65歳以上の老年人口は21.5%から33.2%へ増加すると予想されます。

本市の第5次総合計画では「平成27(2015)年をピークに減少」と予想していましたが、現実にはこれより7年早くピークを迎え、人口減少・高齢化は急速に進行しています。

(参照：図表3～8)

図表 3 豊川市の人口と世帯数の現状と将来

年次	世帯数	人口総数	1世帯当たり人数
2005	61,777	181,444	2.94
2006	62,975	181,929	2.89
2007	64,361	182,758	2.84
2008	65,241	183,107	2.81
2009	65,427	182,352	2.79
2010	65,872	181,928	2.76
2011	65,408	181,733	2.78
2012	65,181	181,150	2.78
2013	66,038	181,329	2.75
2014	66,813	181,158	2.71
2015	67,190	180,741	2.69
2016	67,639	180,597	2.67
2017	68,017	180,245	2.65
2018	68,310	179,654	2.63
2019	68,642	179,156	2.61
2020	68,858	178,343	2.59
2021	69,138	177,685	2.57
2022	69,434	177,057	2.55
2023	69,672	176,269	2.53
2024	69,899	175,447	2.51
2025	70,127	174,615	2.49

※愛知県公表データより 各年 10 月 1 日現在

【人口総数】2005、2010 年：国勢調査値

2006～2009 年：国勢調査後の改定推計値

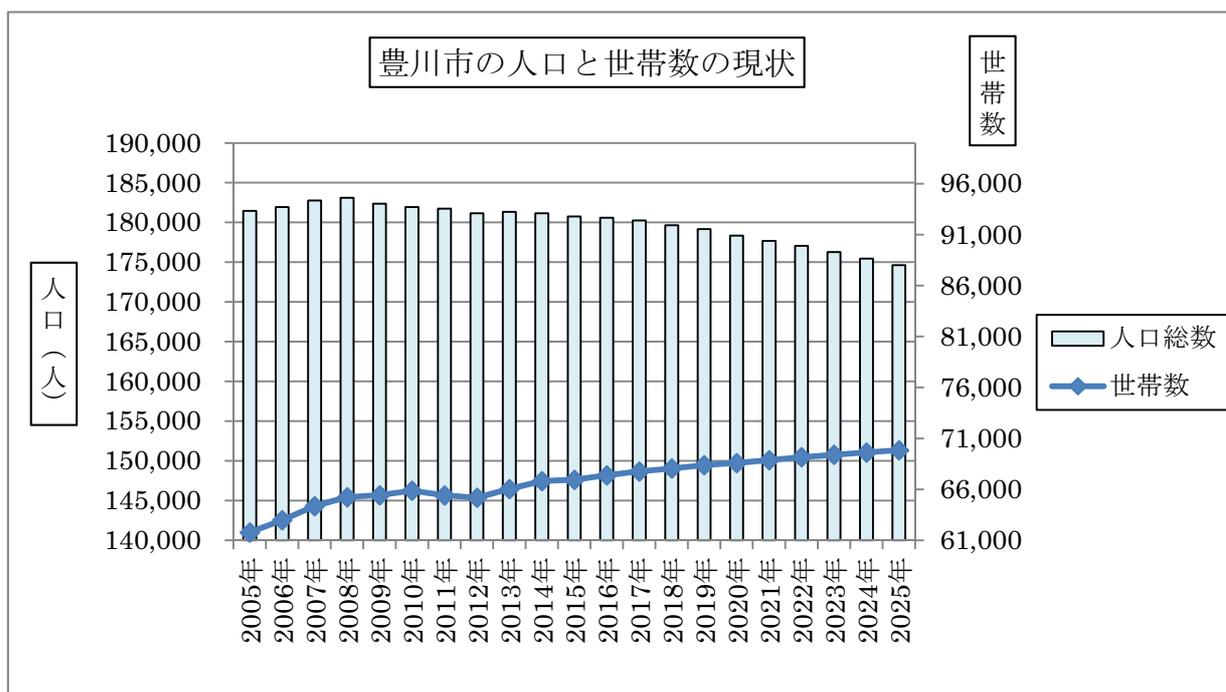
2011～2014 年：2010 年を基調とした人口動向調査による推計値

2015 年以降：社人研推計と独自計算に基づく予測値

【世帯数】2005～2014 まで：愛知県公表データ。

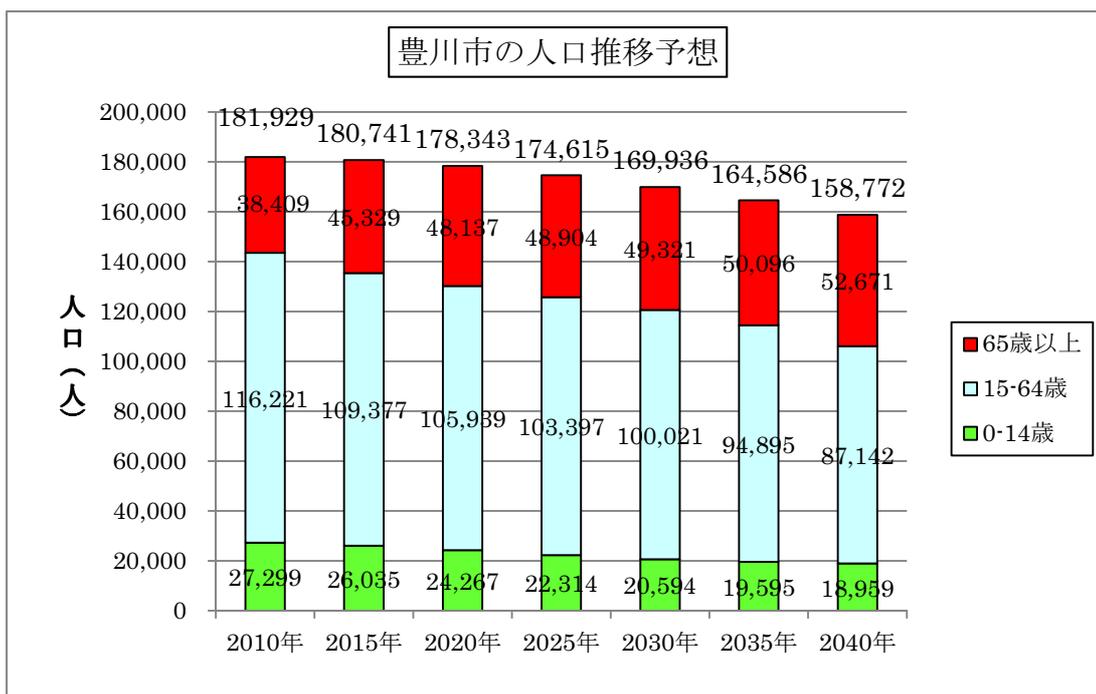
それ以降：独自計算に基づく推計値

図表 4



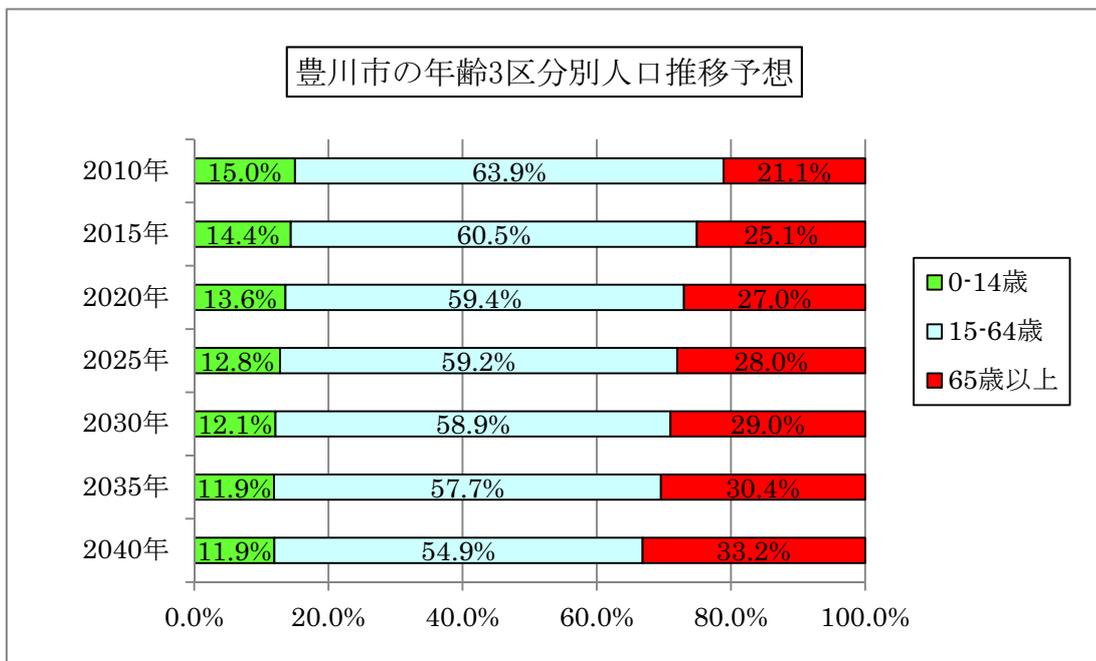
※図表 3 をグラフにしたもの

図表 5



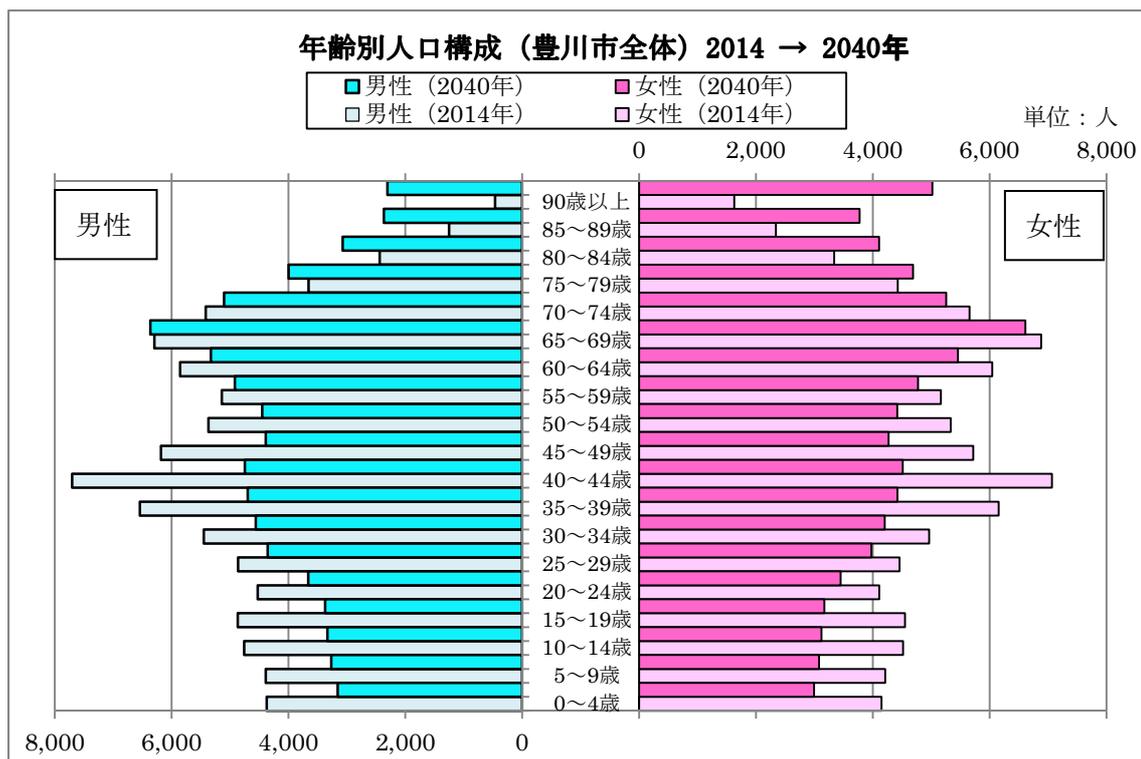
※国立社会保障・人口問題研究所の2013(平成25)年3月27日発表資料による
 2010(平成22)年の年齢区分ごとの合計値は端数処理の関係で図表3(国勢調査値)と合致しない

図表 6



※国立社会保障・人口問題研究所の2013(平成25)年3月27日発表資料による

図表 7



※図表 8 をグラフにしたもの

図表 8

	2014年		2040年	
	男性		女性	
0～4歳	4,373	3,158	4,150	2,996
5～9歳	4,388	3,268	4,214	3,081
10～14歳	4,758	3,335	4,520	3,121
15～19歳	4,869	3,374	4,553	3,171
20～24歳	4,527	3,663	4,112	3,449
25～29歳	4,864	4,356	4,457	3,975
30～34歳	5,451	4,561	4,964	4,206
35～39歳	6,543	4,698	6,156	4,423
40～44歳	7,704	4,746	7,067	4,513
45～49歳	6,182	4,388	5,719	4,271
50～54歳	5,370	4,449	5,333	4,419
55～59歳	5,141	4,919	5,166	4,776
60～64歳	5,854	5,328	6,044	5,457
65～69歳	6,296	6,363	6,882	6,613
70～74歳	5,418	5,102	5,657	5,256
75～79歳	3,656	3,997	4,429	4,690
80～84歳	2,438	3,072	3,341	4,109
85～89歳	1,252	2,367	2,343	3,775
90歳以上	463	2,308	1,628	5,019
合計	89,547	77,452	90,735	81,320

※2014(平成 26)年は愛知県公表データより。年齢不詳を含まないため、合計は図表 3 の人口総数と合致しない。75 歳以上は住民基本台帳のデータをもとに按分している。
 2040(平成 52)年の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所の 2013(平成 25)年 3 月 27 日発表資料による。

(4) 出生・死亡（自然動態）と転出・転入（社会動態）の動向

本市の自然動態は、出生数が減少傾向、死亡数が増加傾向にあり、2014(平成26)年から減少に転じています。

一方、社会動態では転出超過の年もありましたが、2013(平成25)年から転入超過となっています。後段のⅡ転出・転入の人口動向で述べますが、国外との転入・転出が本市の人口に最も大きな影響を与えています。

(参照：図表9～13)

図表9 自然動態と社会動態の推移

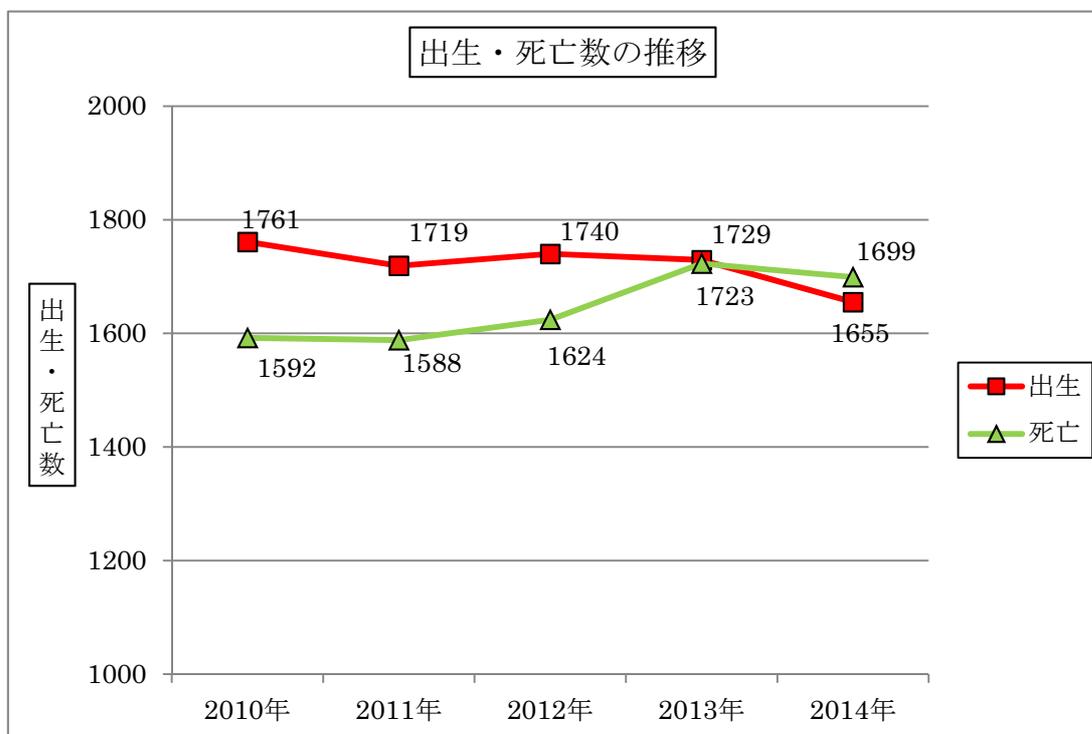
(単位：人)

	自然動態			社会動態			その他		人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	増	減	
2010年	1761	1592	169	5851	6458	-607	102	-52	-388
2011年	1719	1588	131	5665	6000	-335	93	-84	-195
2012年	1740	1624	116	5603	5923	-320	216	-595	-583
2013年	1729	1723	6	5737	5233	504	124	-455	179
2014年	1655	1699	-44	5654	5522	132	140	-399	-171

※愛知県公表データより。その他は職権記載・消除、国籍取得・喪失、転出取消など。

各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値。

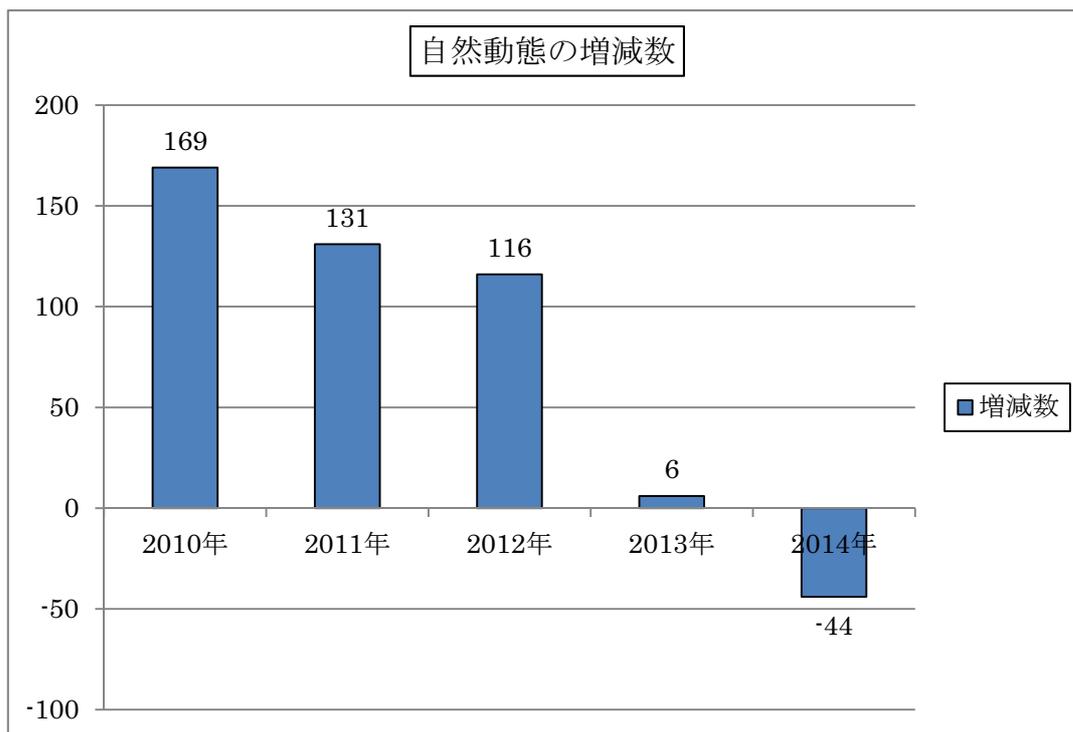
図表10



※図表9をグラフにしたもの。

各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値。

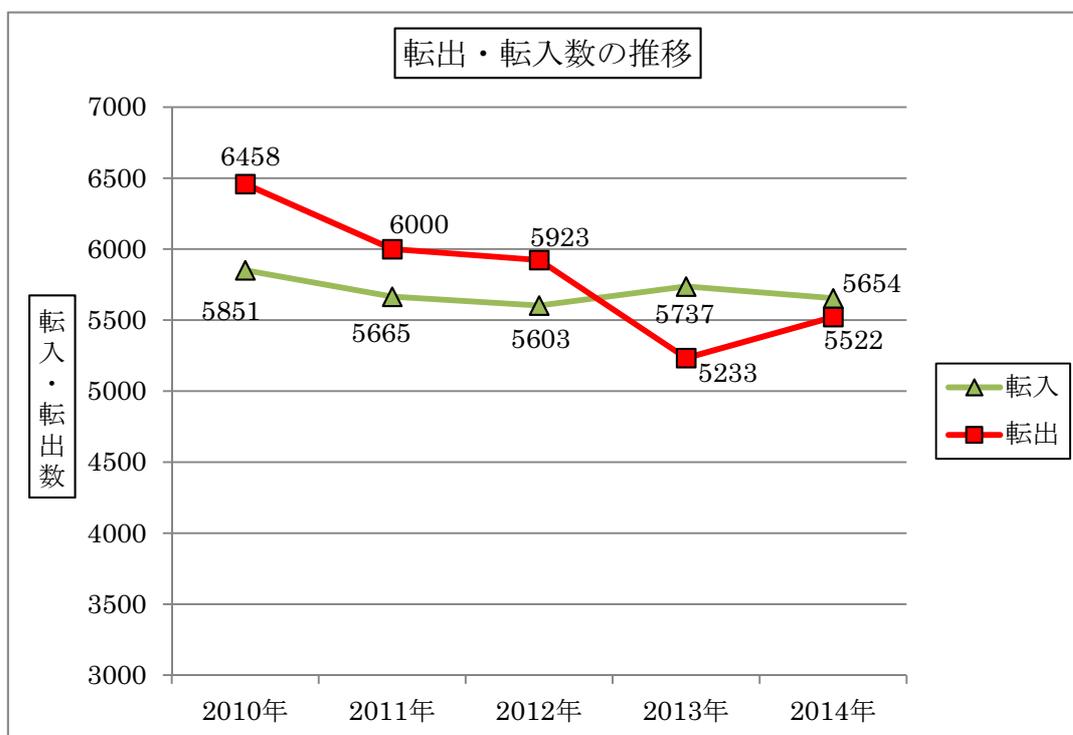
図表 11



※図表 9 をグラフにしたもの。

各年の数値は、前年 10 月～当年 9 月末の集計値。

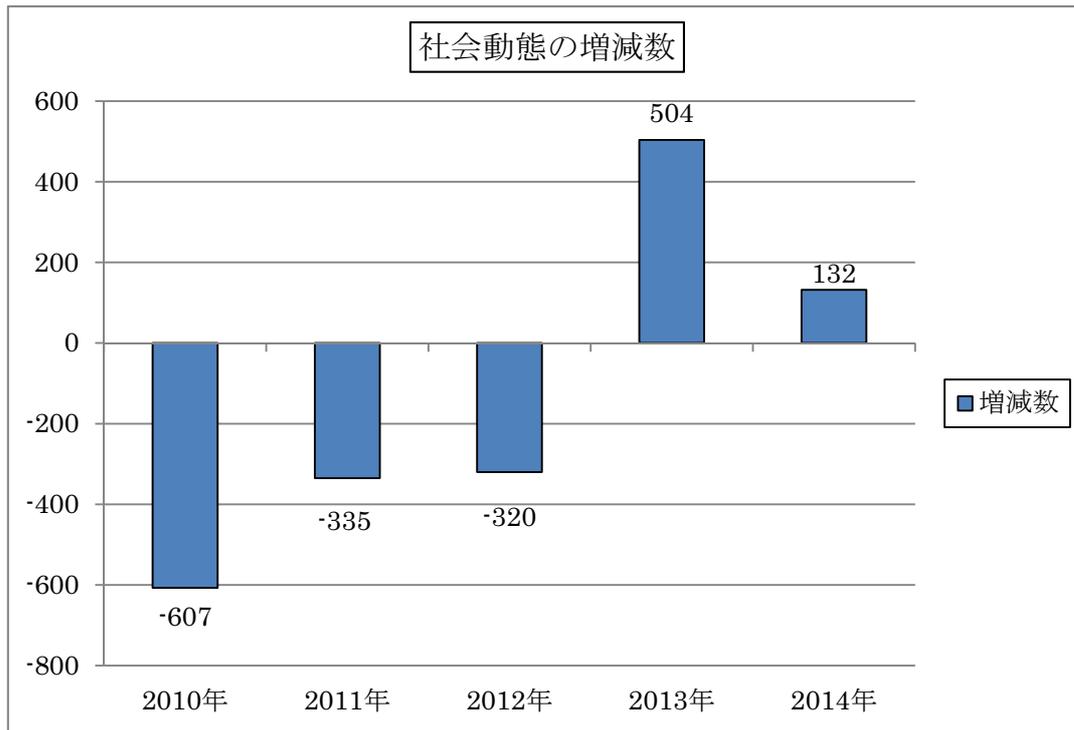
図表 12



※図表 9 をグラフにしたもの。

各年の数値は、前年 10 月～当年 9 月末の集計値

図表 13



※図表 9 をグラフにしたもの。

各年の数値は、前年 10 月～当年 9 月末の集計値

II.豊川市における転出・転入の人口動向

(1) 県内の傾向

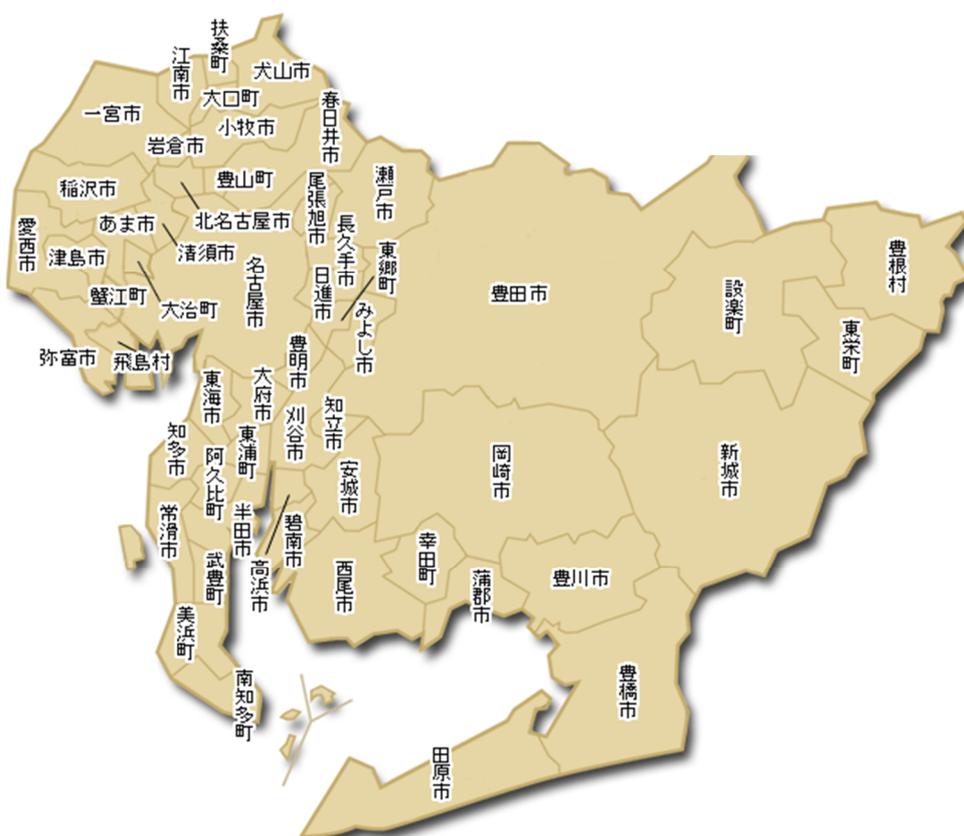
本市における直近5年の転出・転入を見てみると、毎年転入超過となっています。

2014(平成26)年の県内への転出総数は2,963人、県内からの転入総数は3,103人です。隣接する豊橋、新城、岡崎、蒲郡市との間で人口移動が約半分を占めています。とりわけ豊橋市との移動が転出、転入とも1,000人ほど(全体の約1/3)占めており、他と比べて際立っています。その他では名古屋市との移動が目立ちます。

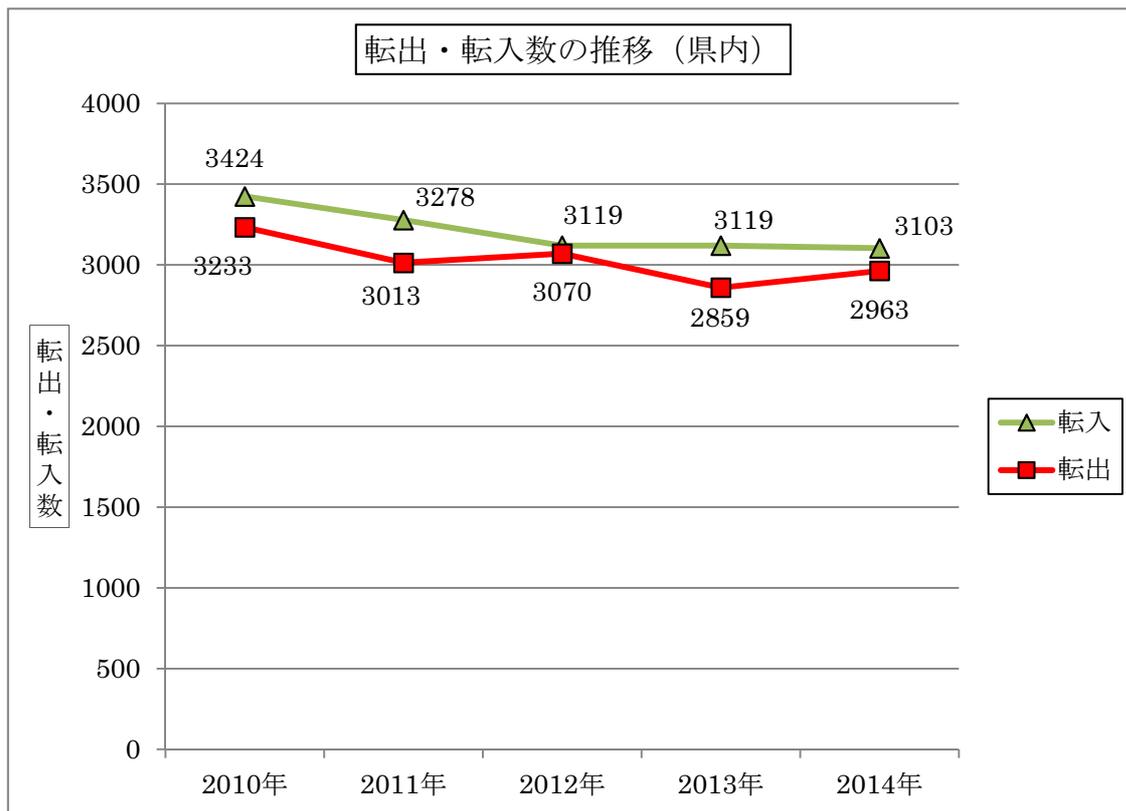
(参照：図表14～18)

2012(平成24)年から2014(平成26)年の3年間において、県内での社会増減は、近隣市との間では概ね転入超過となっています。特徴としては、豊橋、新城市からの転入超過と名古屋市への転出超過が顕著になっています。

(参照：図表19)

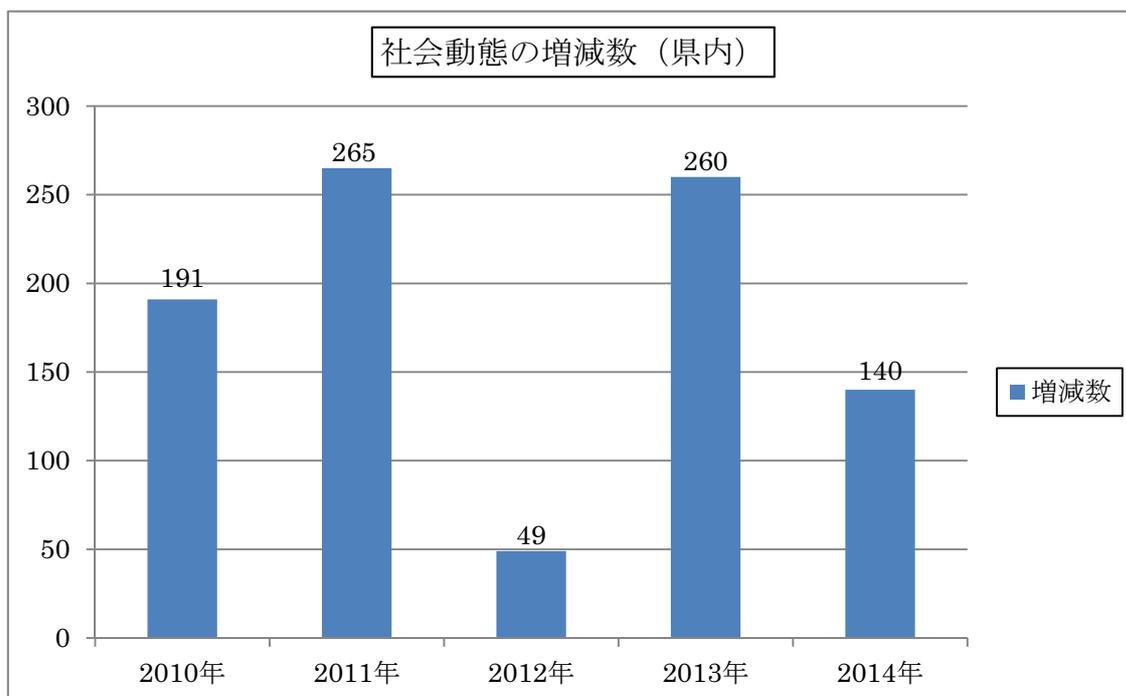


図表 14



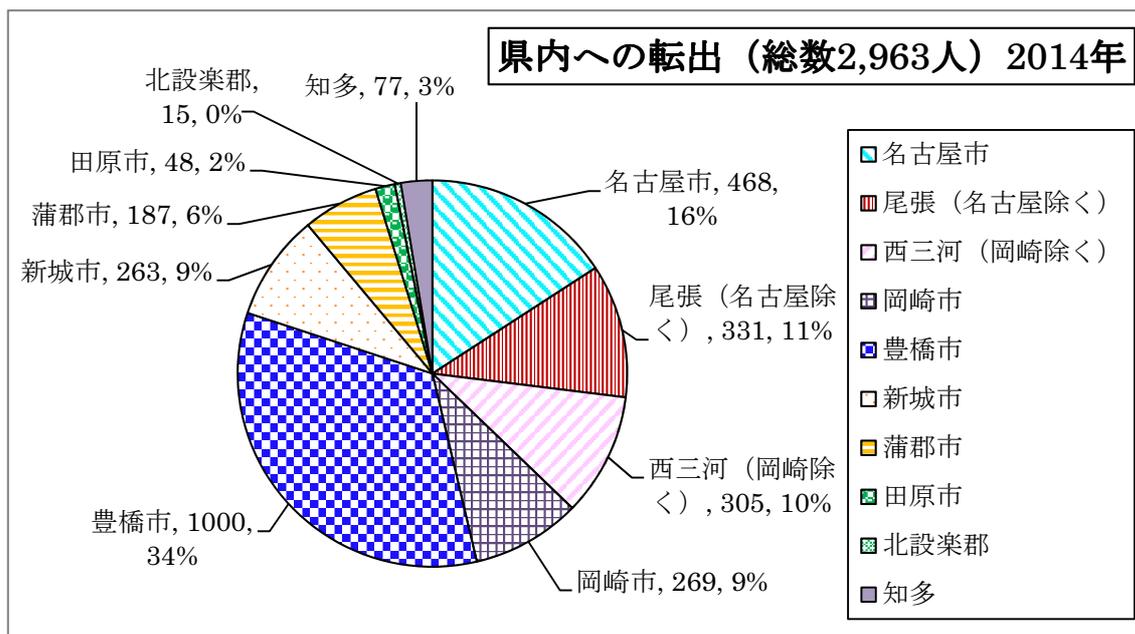
※愛知県公表データより。その他の理由（職権消除、国籍喪失など）による増減は含まない。
各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値

図表 15

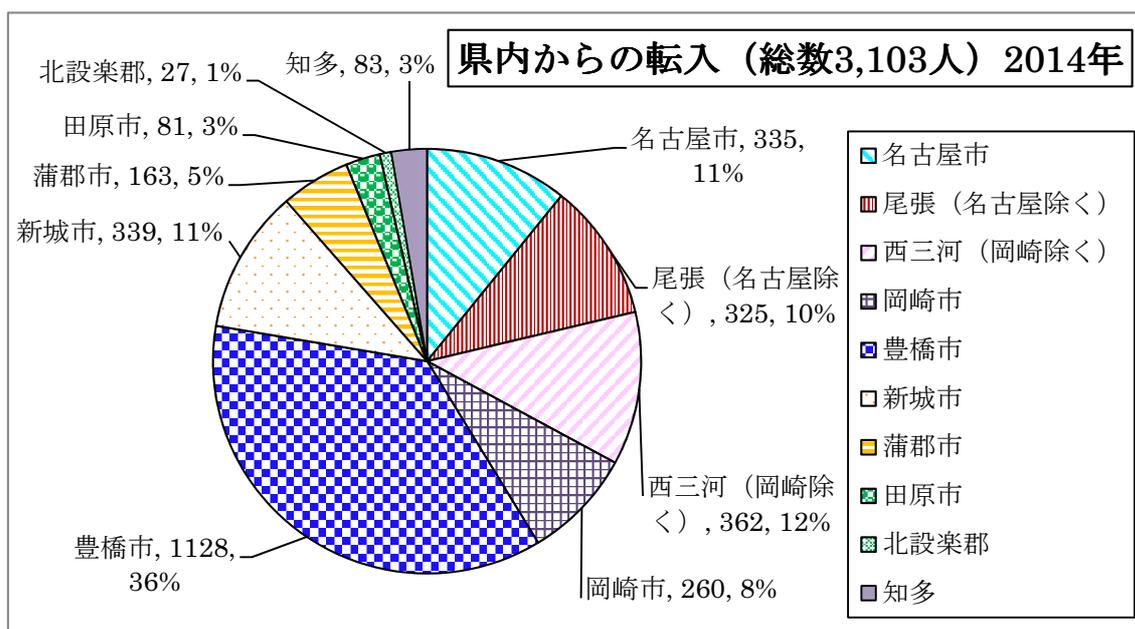


※愛知県公表データより。その他の理由（職権消除、国籍喪失など）による増減は含まない。
各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値

図表 16



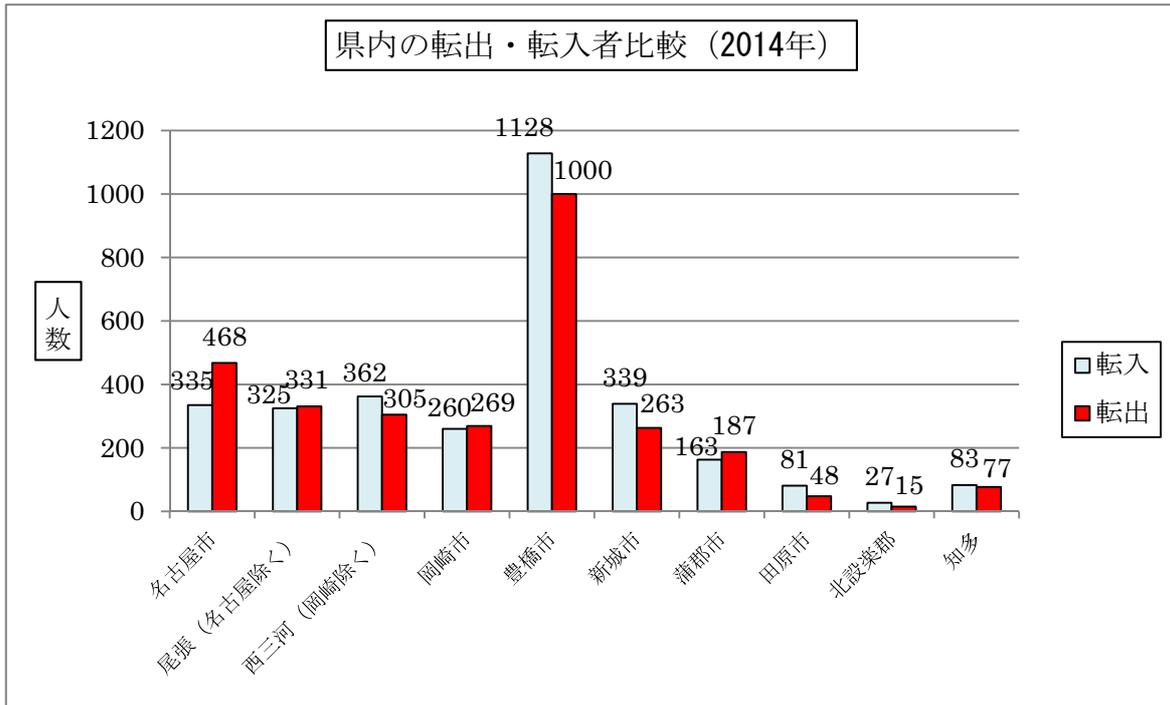
図表 17



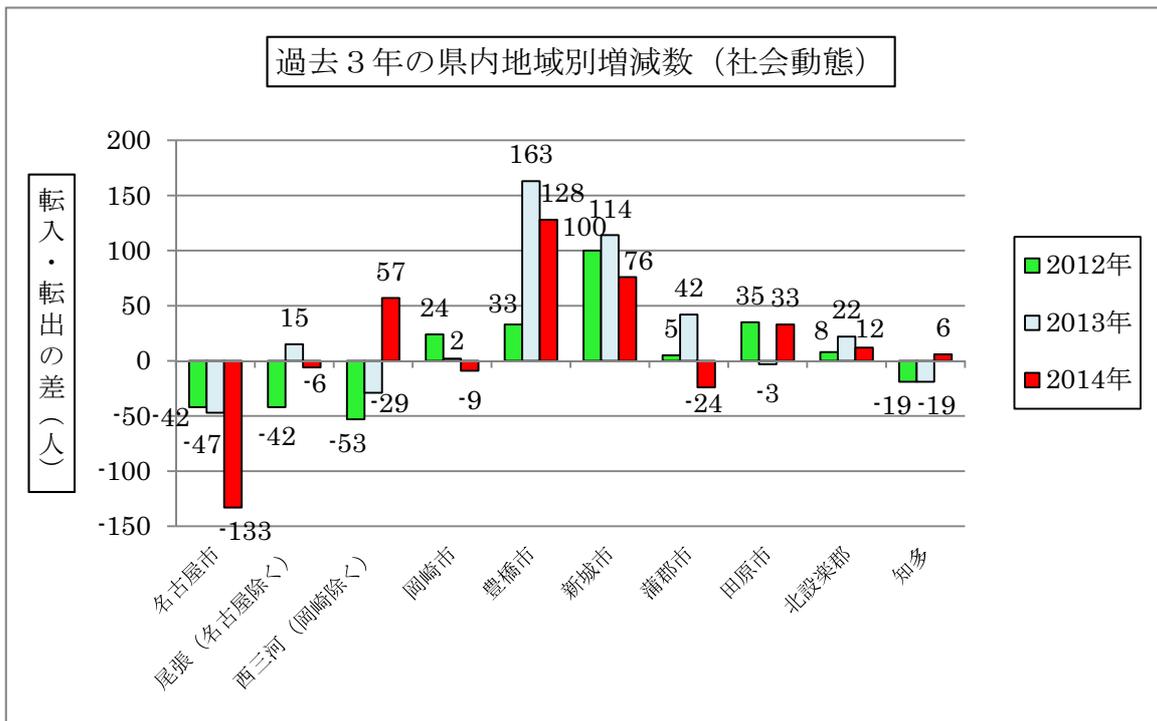
※図表16、17ともに愛知県公表データより。

- 尾張：一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村
- 西三河：碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
- 北設楽郡：設楽町、東栄町、豊根村
- 知多：大府市、東海市、知多市、常滑市、半田市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町

図表 18



図表 19



※図表 18、19ともに愛知県公表データより。

尾張：一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村
 西三河：碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
 北設楽郡：設楽町、東栄町、豊根村
 知多：大府市、東海市、知多市、常滑市、半田市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町

(2) 県外の傾向

本市における2014(平成26)年の県外への転出総数は2,559人、県外からの転入総数は2,551人です。隣接する静岡、三重、岐阜県との間で人口移動が多くなっています。その他では東京や大阪周辺の大都市圏が多くなっています。

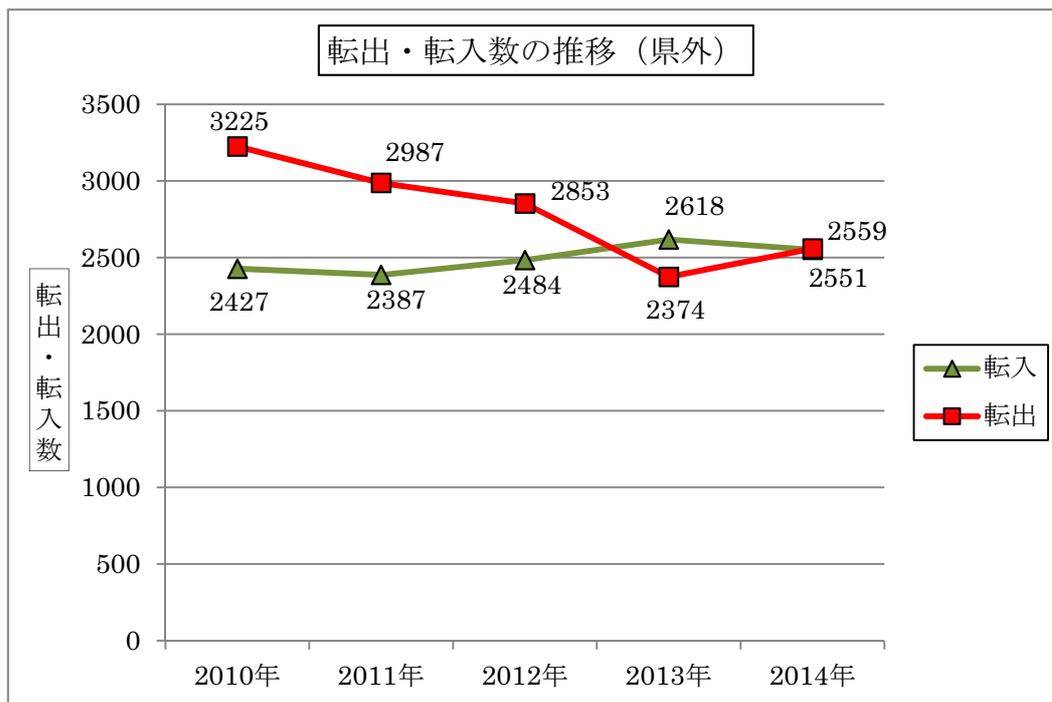
(参照：図表20～24)

2012(平成24)年から2014(平成26)年の3年間では、東京都への転出超過が続いています。また、国外との人口移動が本市に最も大きな影響を与えています。世界的金融危機以降、県外・国外への転出超過は急増しましたが、徐々に落ち着きを取り戻しています。

(参照：図表25)

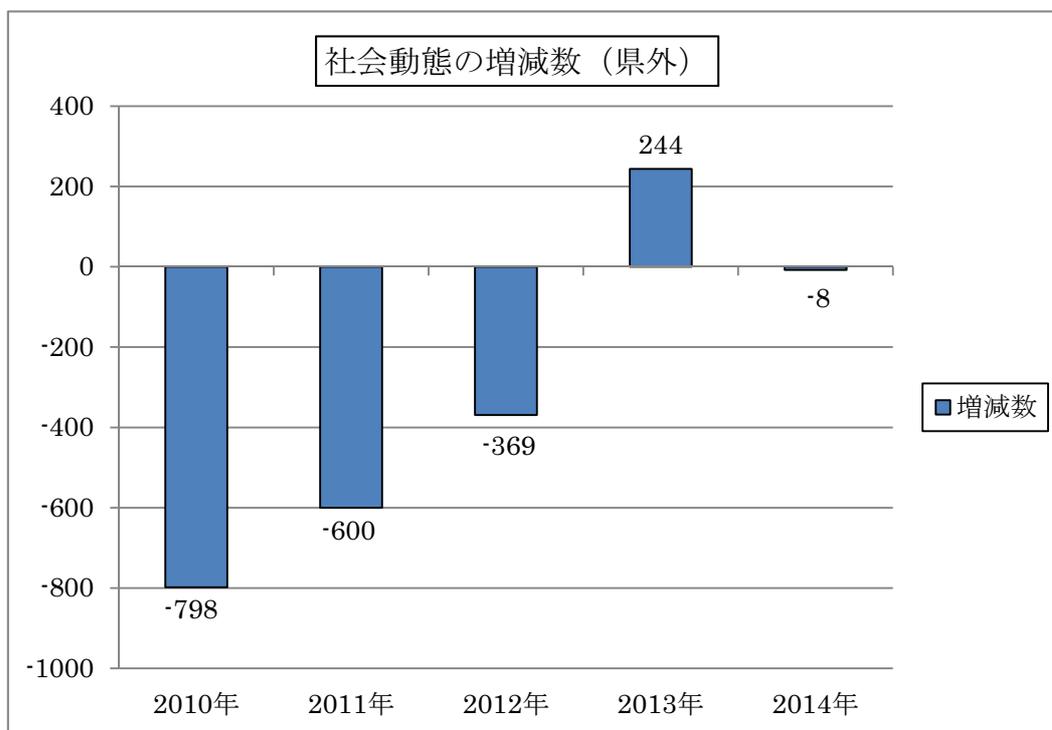


図表 20



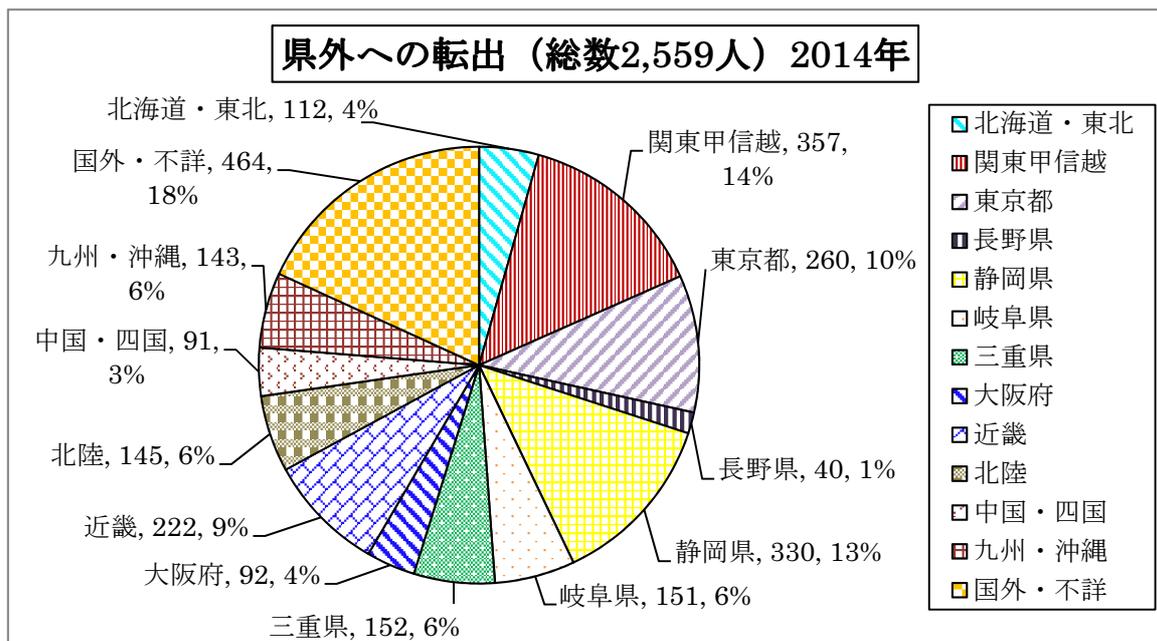
※愛知県公表データより。その他の理由（職権消除、国籍喪失など）による増減は含まない。
各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値

図表 21

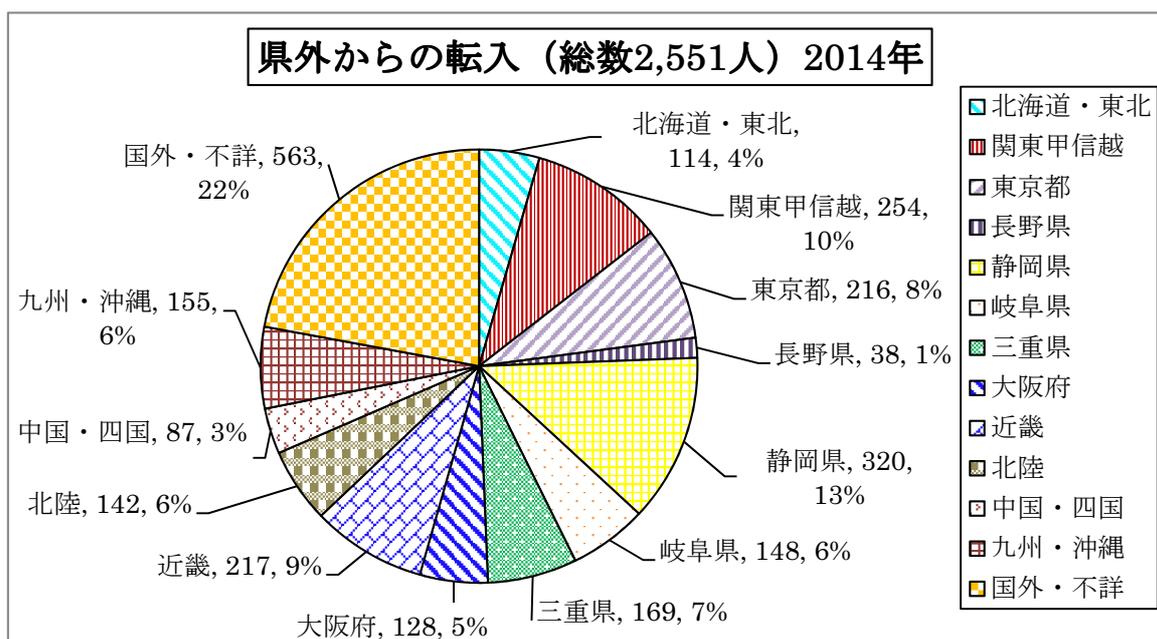


※愛知県公表データより。その他の理由（職権消除、国籍喪失など）による増減は含まない。
各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値

図表 22



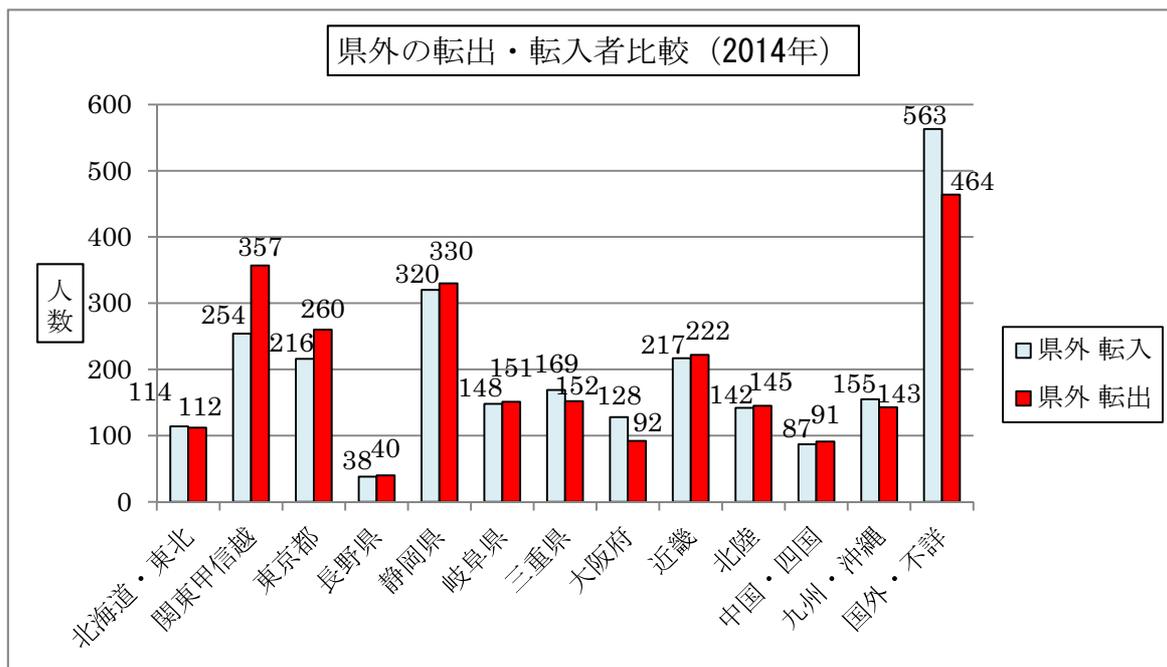
図表 23



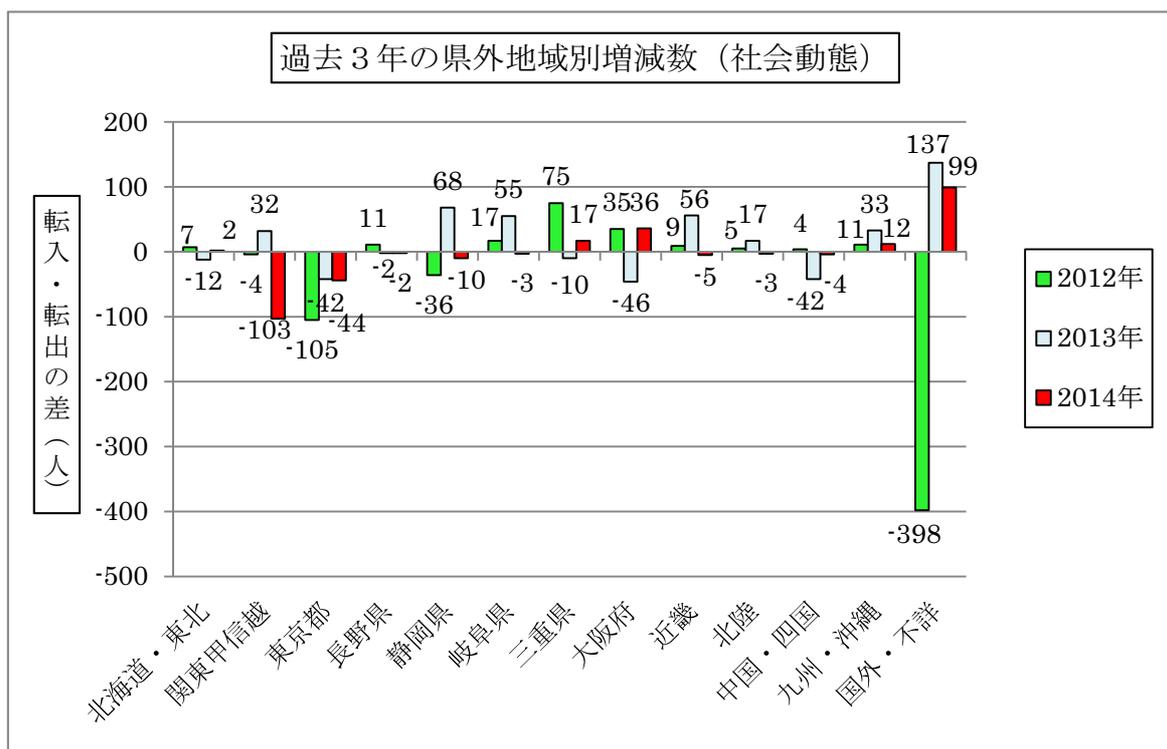
※図表 2 2、2 3ともに愛知県公表データより。

- 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東甲信越：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、新潟県
- 近畿：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 北陸：福井県、石川県、富山県
- 中国・四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

図表 24



図表 25



※図表 24、25ともに愛知県公表データより。

- 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東甲信越：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、新潟県
- 近畿：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 北陸：福井県、石川県、富山県
- 中国・四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

豊川市人口動向報告

平成〇〇年〇月

《発行》

豊川市 企画部 企画政策課

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地

TEL:0533-89-2126 FAX:0533-89-2125

Email:kikaku@city.toyokawa.lg.jp